

2023 年度 学生満足度調査
結果報告書

2024 年 10 月

東海学園大学

IR 推進委員会

1.調査の目的・実施方法

学生満足度調査は、教育内容や学生の学生生活全般に関する満足度を調査するとともに、学生サービス、施設・設備に関する意見などから、今後の改善に向けた指針を得ることを目的として実施した。なお、以下の設問は必須回答のため有効回答総数の内訳は下表のとおりである。

【調査対象】 本学に在籍する全学生（※2023年12月時点）

【実施方法】 Web

【調査期間】 2023年度12月11日（月）～2024年2月8日（木）

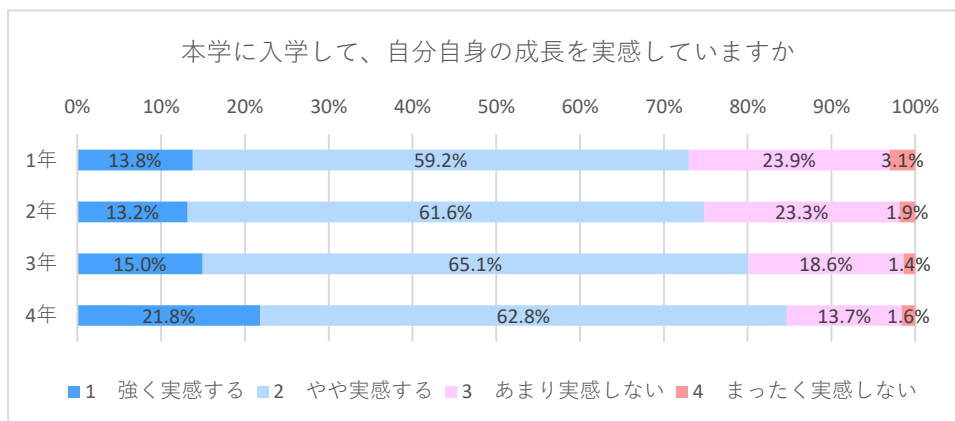
【回答者数】 2,889件（回答率：77.6%）

学年	1年	2年	3年	4年	計
対象者数	1015	872	873	966	3,725
回答者数	785	691	662	751	2,889
回収率	77.3%	79.2%	75.8%	77.7%	77.6%

2.調査結果

Q1 本学に入学して、自分自身の成長を実感していますか

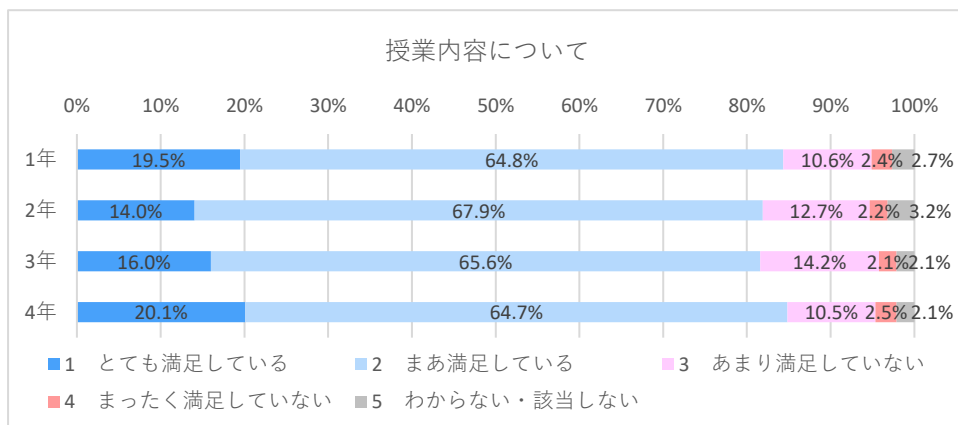
- ・どの学年も70%以上が「強く実感する」「やや実感する」と回答しており、特に4年生は84.6%の回答率となった。



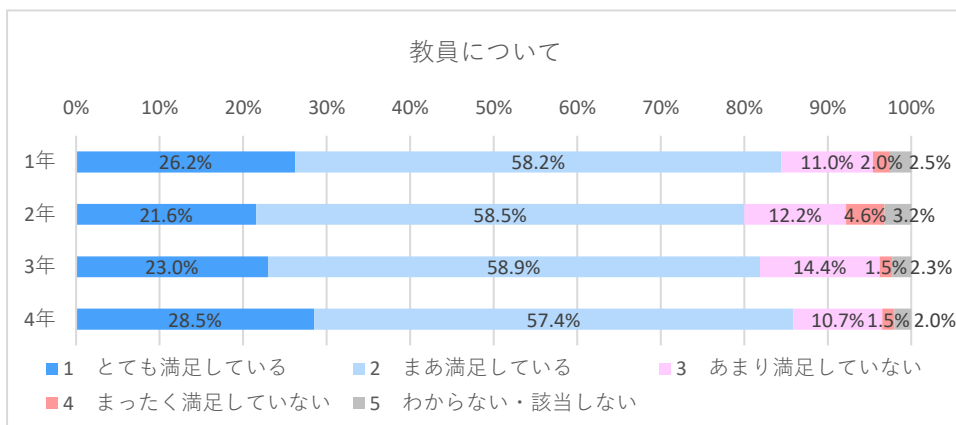
Q2 大学教育・学生生活への満足度

- ・「1.授業内容について」「2.教員について」「5.友人との人間関係について」の設問において、「とても満足している」「まあ満足している」と回答した学生はどの学年も80%を超えている。
- ・「4.就職・進路支援について」「6.学生対応窓口について」の設問において1・2年生で「とても満足している」「まあ満足している」の回答率が下がり、「わからない・該当しない」の割合が3・4年生より高くなっている。

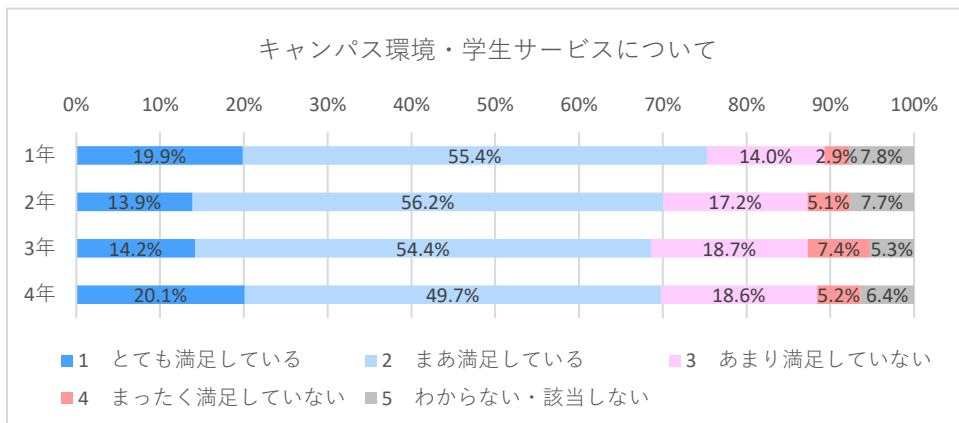
1.授業内容について



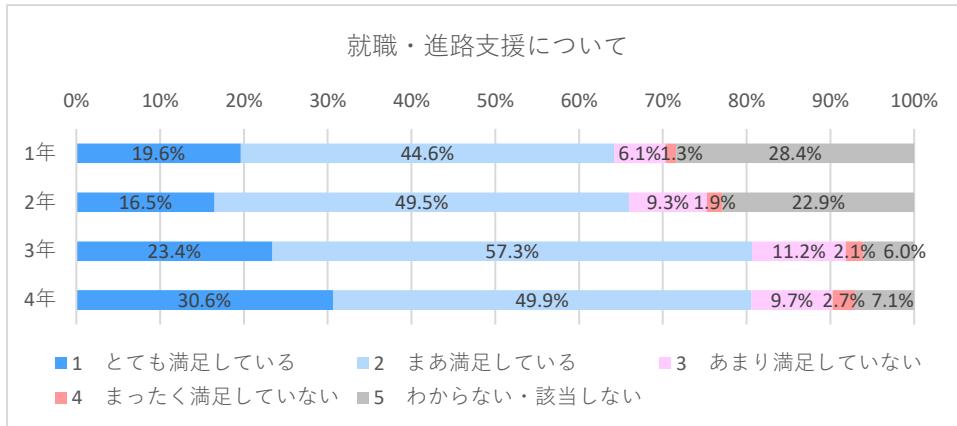
2.教員について



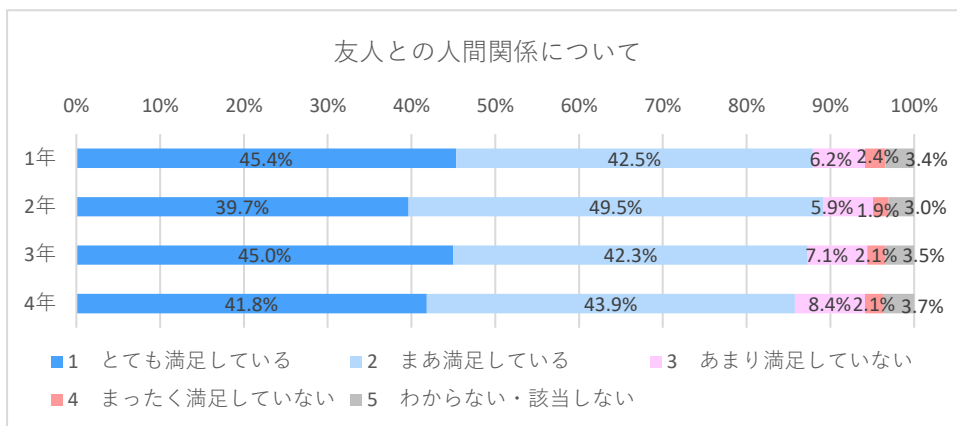
3.キャンパス環境・学生サービスについて



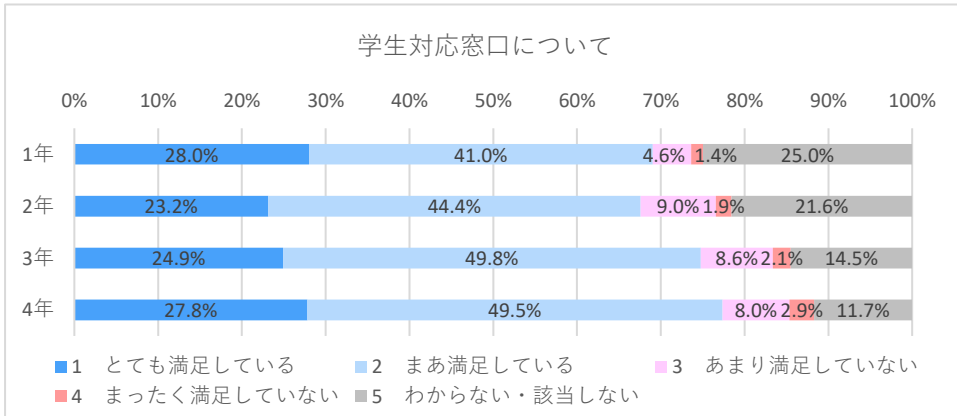
4.就職・進路支援について



5.友人との人間関係について



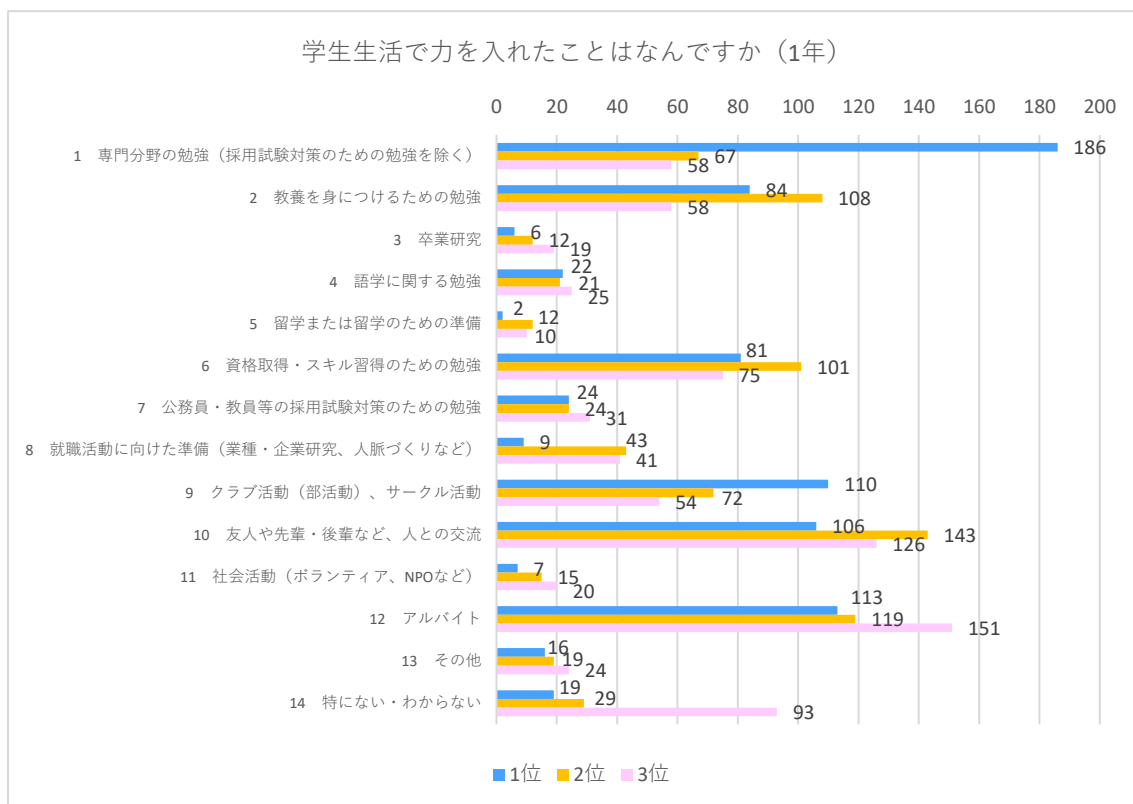
6.学生窓口対応



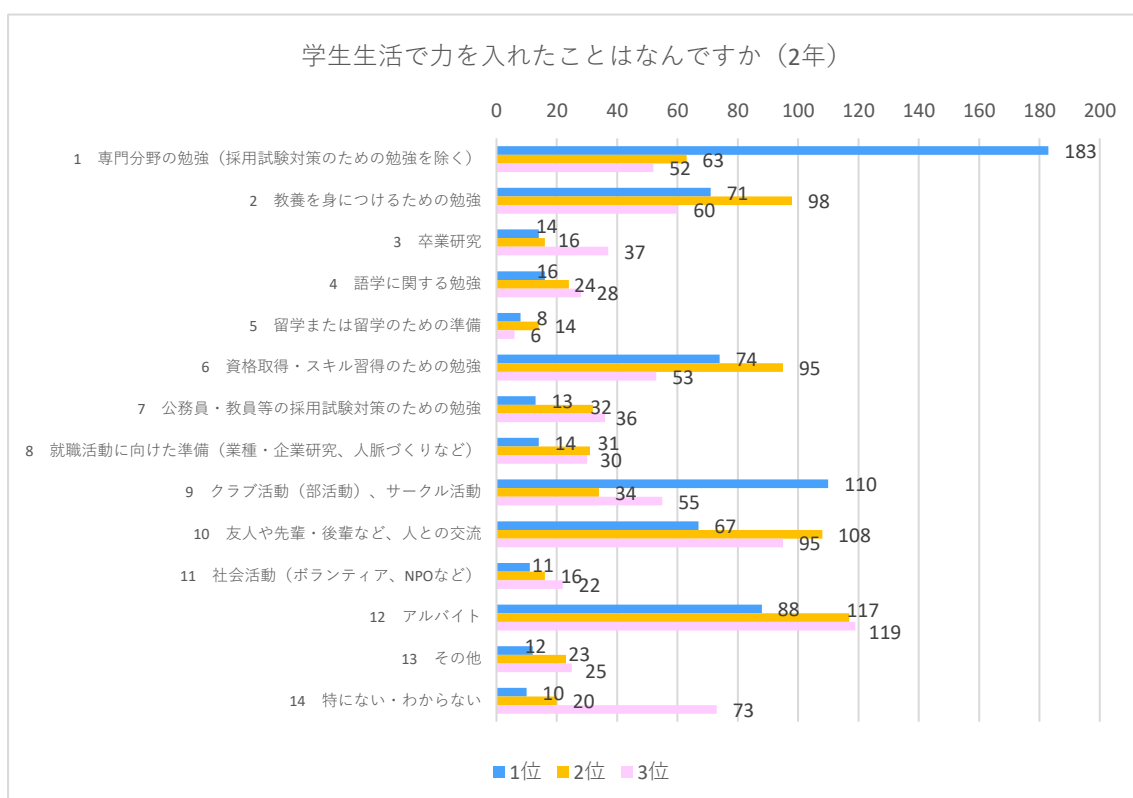
Q3 学生生活で力をいれたこと

- ・「学生生活で力を入れたこと」の1位はどの学年も「専門分野の勉強（採用試験対策のための勉強を除く）」であった。
- ・回答率が低くなった項目は、どの学年も「留学または留学のための準備」「社会活動（ボランティア、NPOなど）」となった。

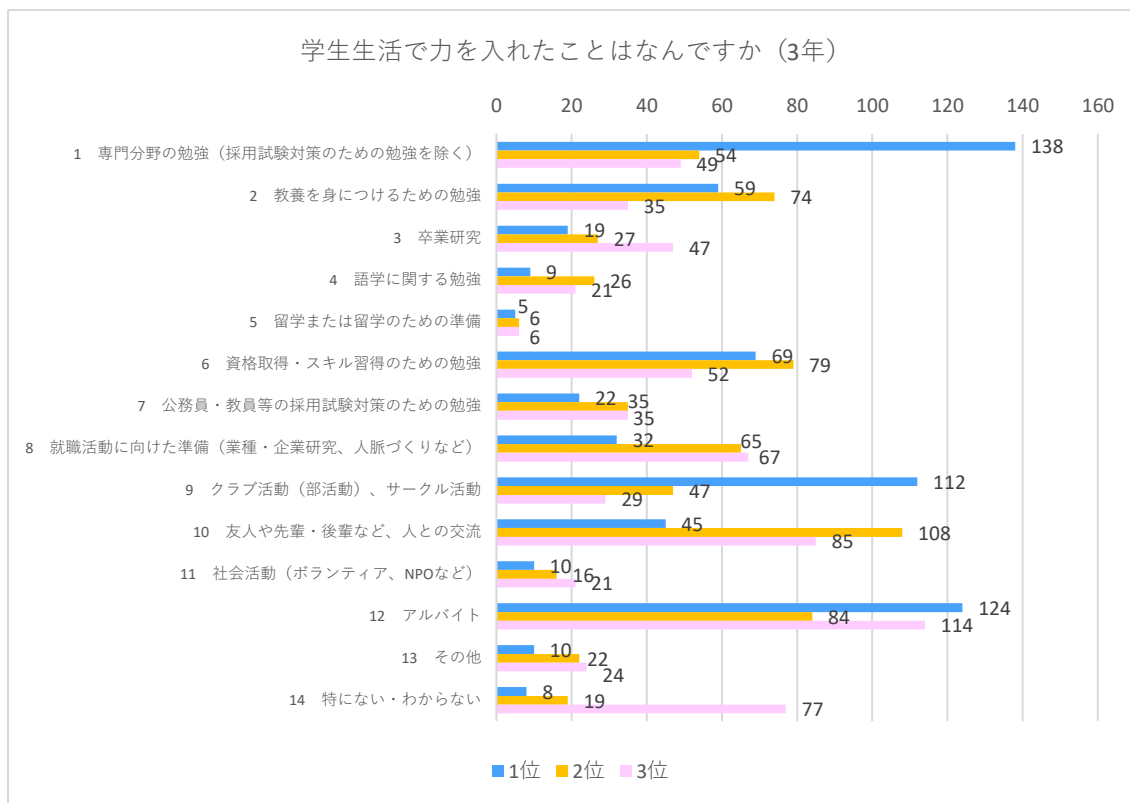
【1年】



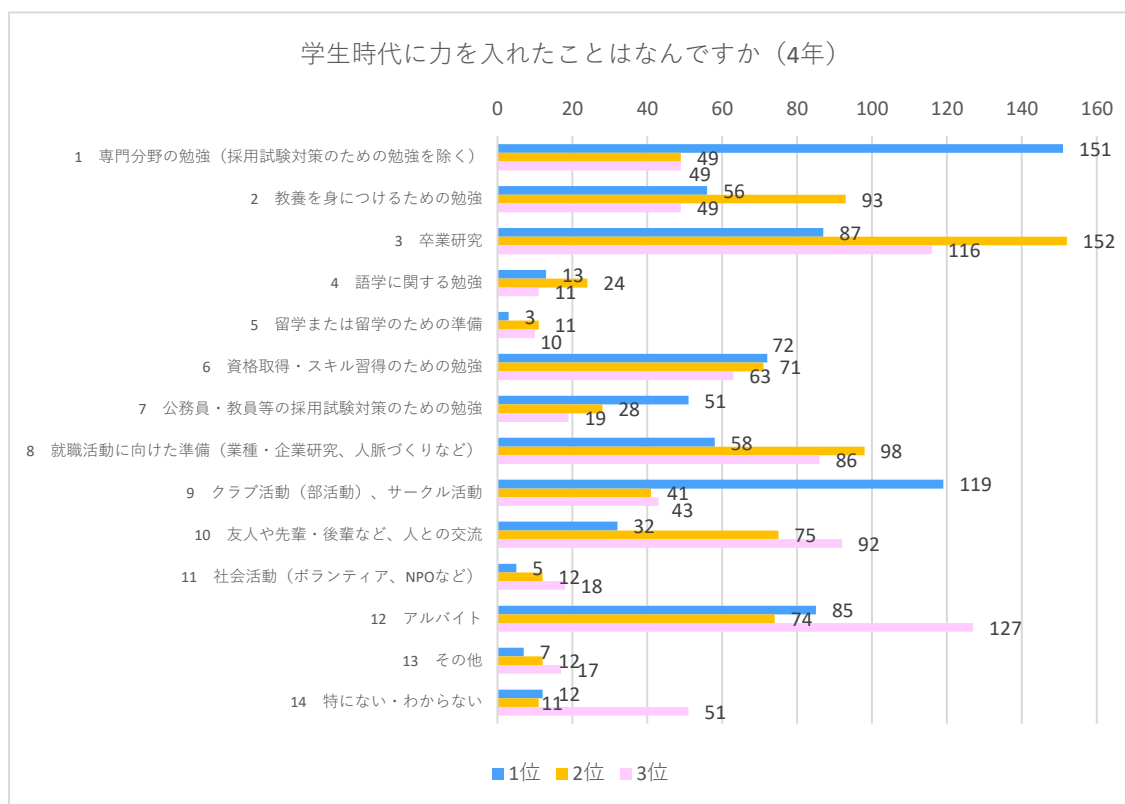
【2年】



【3年】

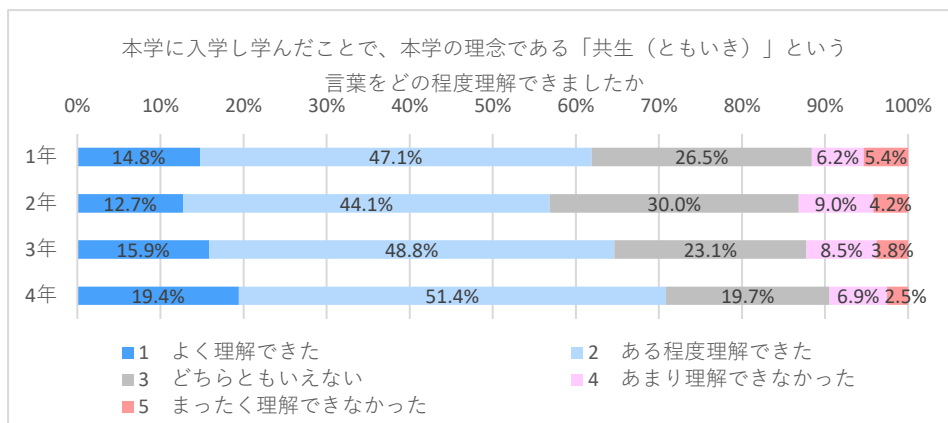


【4年】



Q4 「共生（ともいき）」の理解度

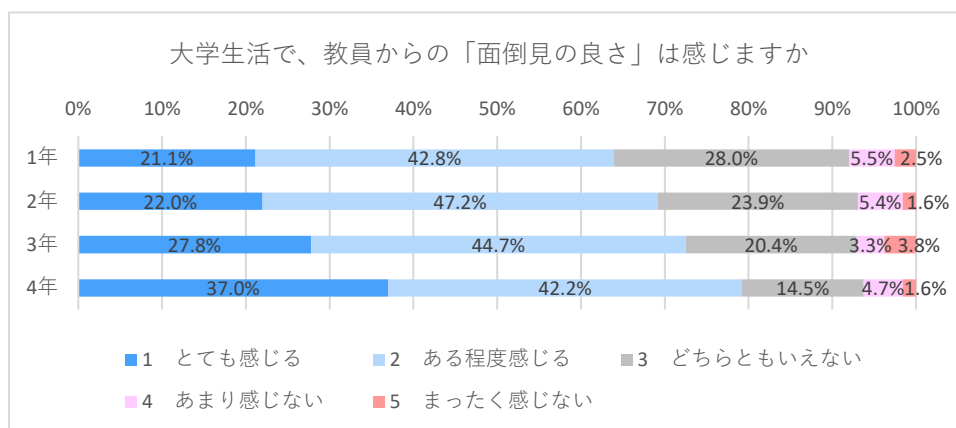
- ・「よく理解できた」「ある程度理解できた」との回答率は1・3・4年生が60%以上となったが、2年生は56.8%であった。



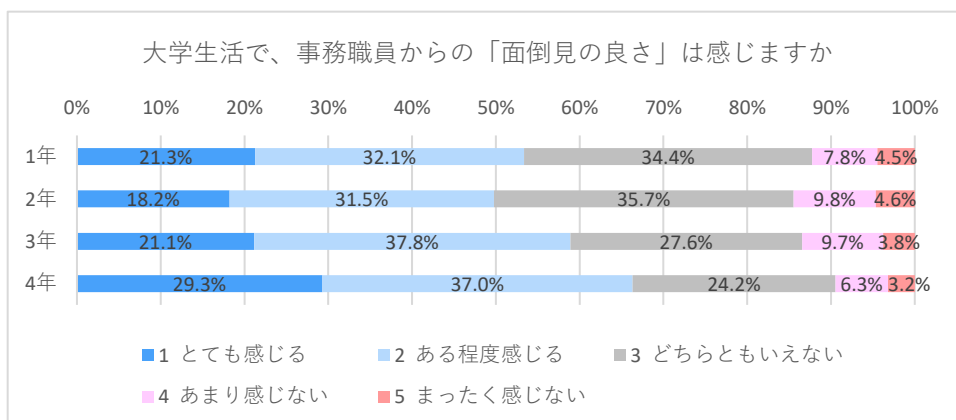
Q5 教職員の「面倒見の良さ」

- ・教員や事務職員からの「面倒見の良さ」について「とても感じる」「ある程度感じる」と回答した割合は4年生が最も高くなった。

1.教員からの「面倒見の良さ」

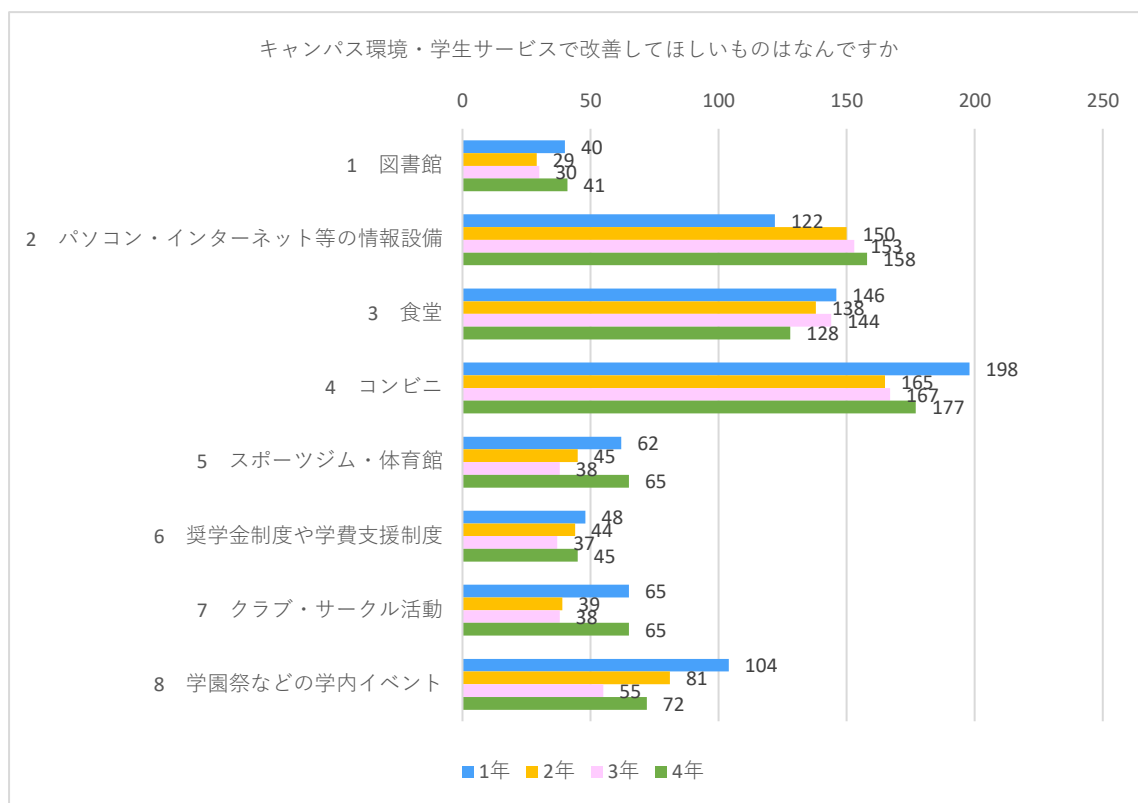


2.事務職員からの「面倒見の良さ」



Q6 キャンパス環境・学生サービスで改善してほしいもの

- ・どの学年も回答率が高かった項目は、パソコン・インターネット等の情報設備・食堂・コンビニとなった。特にコンビニはすべての学年で回答数が最も多かった。



3.本調査のまとめ

各設問においてポジティブ回答の割合が高く、本学の教育内容や学生生活全般に対して概ね満足していることがうかがえる。特に「Q2-5 友人との人間関係について」では、「とても満足している」の回答率がおおよそ40%とそのほかの設問よりも高くなった。

一方で「Q6 キャンパス環境・学生サービスで改善してほしいもの」にあるように改善の要望が出ている項目については学生のニーズを汲み上げながら、どのように対応できるか大学として検討していかなければならない。